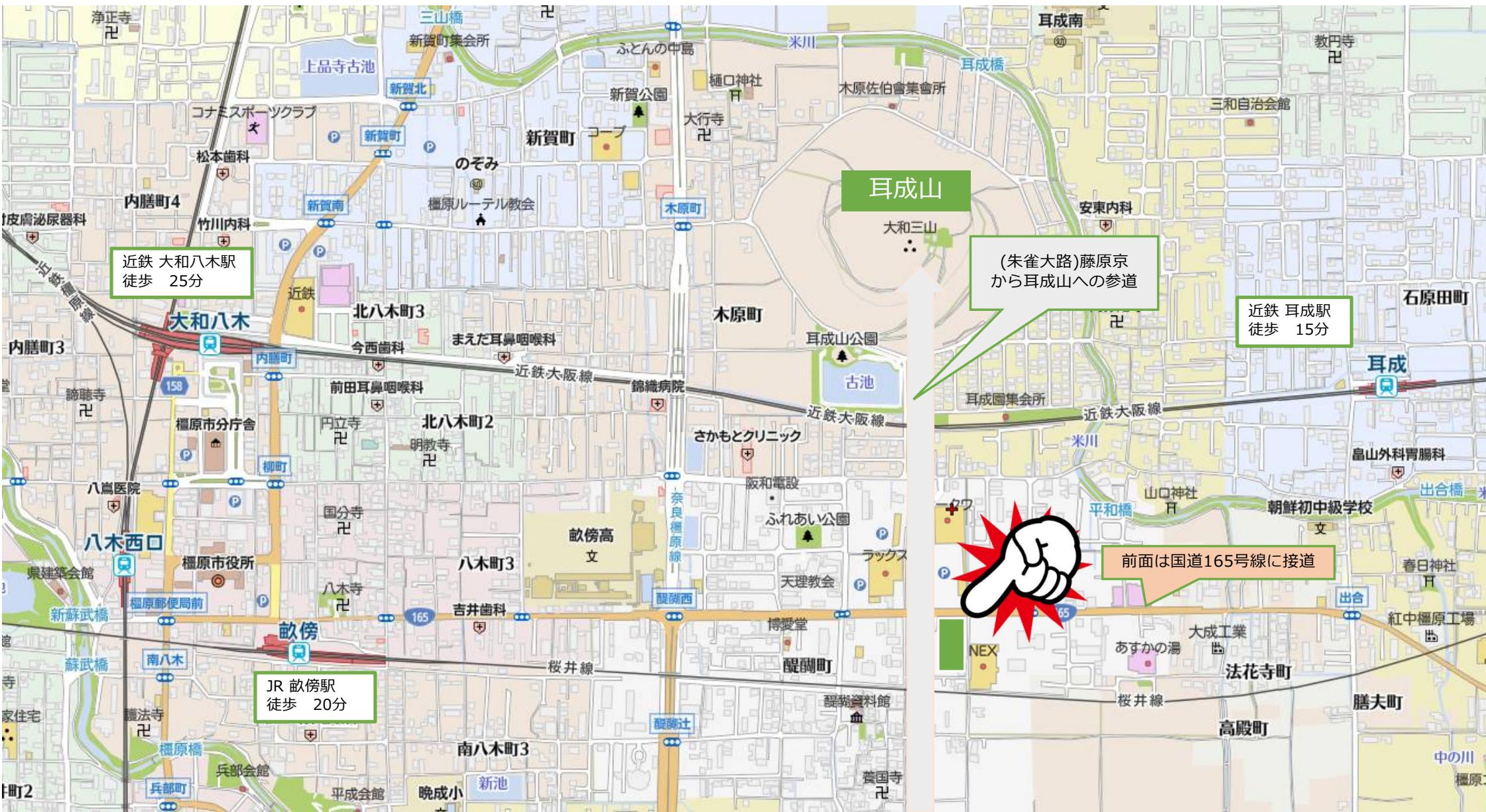




サクラインターナショナル株式会社

・飛鳥スタジオ



飛鳥スタジオ（事務所）



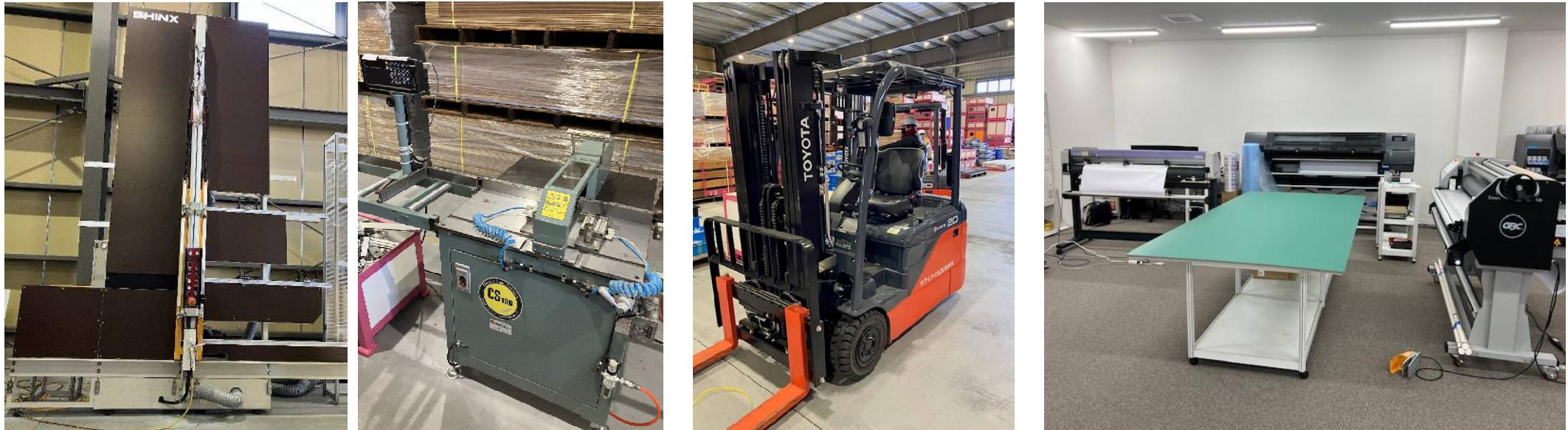
飛鳥スタジオ（工場棟）



## 工場概要

- ・ 大阪近郊の主要展示会ブース資材の生産拠点工場として、令和7年1月開設。
- ・ 敷地面積1,100坪（3,636m<sup>2</sup>）  
事務所棟200坪（661m<sup>2</sup>）  
工場棟420坪（1,388m<sup>2</sup>）
- ・ 壁面約6,000枚、展示台約1,500台、棚500枚、マキシマ5,000m、ドア・アコ100枚分のオクタノルムシステムを保有。（令和7年1月時点）
- ・ 部材の在庫保管、生産、加工、輸送管理をメイン業務として稼働しています。

# 飛鳥スタジオ設備



## 大型加工機

パネルカットに使用するパネルソーや、アルミ部材を加工する切断機、穴あけ加工用の卓上ボール盤等、工作機械を保有しており、加工作業は自社対応可能。

## フォークリフト

効率よく資材移動させる為フォークリフトを保有。保有台数は合計3台。

## 大型プリンター 他

社名や商品説明パネル、グラフィック加工のサイン作成を行っているGDO設備。大型インクジェットプリンター3台、プロッター（切文字）1台、ラミネーター2台、工業用ミシン1台保有。

# 飛鳥スタジオ保有車輌

---



- ・ 4t ウィングゲート車 1台
- ・ 2t 平車 1台
- ・ ワンボックス車 2台

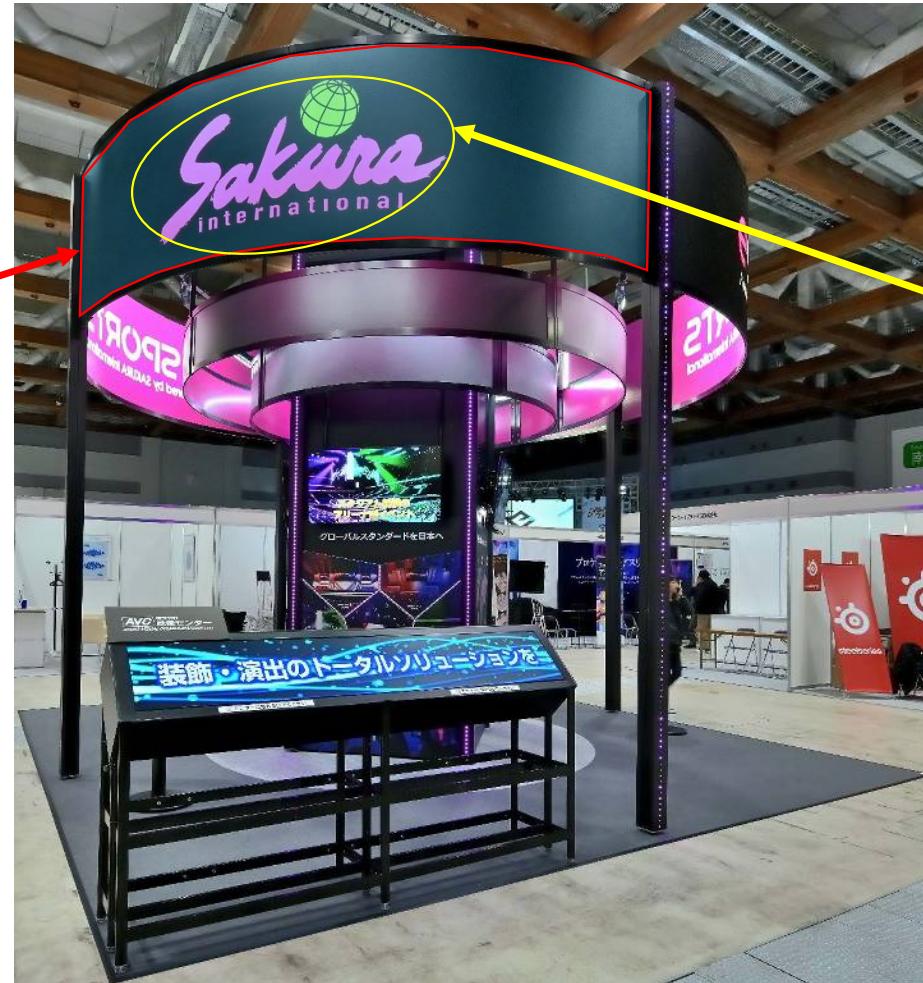


飛鳥スタジオ社員には中・大型車運転免許所持者が多数おり、配送可能な社員も常駐し現場への輸送業務も行っております。

## 資材管理セクション紹介

板チーム

壁面に使用するポリ板や展示台に使用する天板、看板で使用するツインパネル等の板材全般の管理セクション。矢印はツインパネルを使用。



貼り・GDOチーム

GDOチームが出力作業・データ作成を管理し、貼りチームで板材へ貼り作業を行う。高度な技術を要する為熟練スタッフにより作業が行われている。

Sakura  
international

# 資材管理セクション紹介

## アルミチーム

システムブースの骨組みになる柱（ポール）と梁（フレーム）の管理セクション。カラーはシルバー・白・黒の3色を保有し、ブースデザインに合わせて生産しています。

## SRDS<sup>2</sup>チーム

一度使用した部材のメンテナンスを行い、保管・管理を行うセクション。お客様よりSRDS<sup>2</sup>依頼を受け丁寧に保管しております。看板に使用したもののが保管が多くあります。



## 小物チーム

システムブース装飾補助の役割をしている小物部材と、運営業務で使用する備品（パネルスタンド他）を管理しているセクション。  
※部材自体が小さい為写真では見えません。

## 大物チーム

ドア・ウェイト・ベース・メッシュパネル等の大きい部材を主に管理しているセクション。

矢印はアコーディオンアになります。



# 資材管理セクション紹介



## マキシマチーム

システムより大きな造作組立が可能なマキシマを管理しているセクション。サイズは120.80.40角、カラーはシルバーと黒を保有しております。

## スマパーティーム

当社独自開発のスマパネルという壁面パネル。システムよりも仕上がりが綺麗で、ピン打ちができることが特徴。特許取得済。メンテナンスに時間を要す。



# 生産本部の取り組み

- ・昨今では新型コロナウイルスの影響により展示会が一時的に離れてしましましたが、当社のノウハウや生産技術を生かし、システム商材の活用や貼り作業の内製化等、今後も視野を広げできる事を増やし続けております。
- ・現在展示会は徐々に戻ってきますが、これからも当社が対応できる仕事を増やし続けていこうと考えております。

協力会社へお願いする業務も、自社対応可能なら会社の発展に繋がりますので、一度相談してください。



オリンピック  
選手村  
マンション内の  
ラッピング作業



飛沫感染防止  
Shield商材開発



社用車  
ラッピング作業内製

## 生産本部の取り組み



木工造作  
自社制作内製化



ファブリック出力  
自社制作内製化

 **Sakura**  
international

## パネルソー (昇降型板材切断機)

当社では国内外から様々なサイズの板材を仕入れています。それらを正確な寸法にカットし、全国の展示会場に出荷し使用しています。あらゆるサイズに対応できるよう、高さ3,050mmの板材までカット出来る大型の昇降型パネルソーを2機保有しています。昇降版型は刃がむき出しにならず、安全に作業する事が出来ます。奈良工場(東吉野)にも1機保有、東京工場に2機保有し、社内で切断加工はすべて対応可能となります。



## ツインパネル (ポリカーボネート)

サイズ 5,800mm × 2,000mmのポリカ原材を直接、海外から仕入れています。

国内でもこのサイズで保有しているのは当社のみ。



この素材はポリカーボネート製で「強く・強靭」で、大型盤面でも折れにくいのが特徴です。他の透明樹脂と比較すると50倍の耐衝撃性を有し、中空構造の為「軽く」、看板などの上部構造に用いても下部の構造物に負担を掛けることなく、安全に使用する事が出来ます。また、展示会などの多数の人が来場する施設でも使える様に、燃えにくく、着火しても自己消火性に優れている素材です。当社でも試験に出し、防炎製品として認定して頂いています。装飾デザインに合わせ、大型盤面でも分割無の一枚物のサインを作成する事ができるのはMICE業界では当社だけです。

## 貼り作業場

元の板素材は白色となっており、装飾に合わせて「色替え」や「サイン貼り」をこちらの作業場で行います。

カラーシートは常時40色以上を在庫しており、急な追加・変更にも迅速な対応が出来ます。常時在庫ではないシートも、全国に複数のサプライヤーが居る為、40色に限定せず、様々な色替えが可能です。

また、本来は樹脂フィルムを印刷素材にラミネートを行う機械「大判ラミネーター」を用いて、樹脂フィルムの代わりにカラーシート等を貼り付け、手作業では出来ない、より密着させた貼り作業を行う事が出来ます。熟練の技術が無くともラミネーターで作業を行う事で、熟練レベルの品質を保っています。様々な業界が人材不足をしている中ですが、当社では機械を用いる事で人材不足に対処しております。



# モジュラーシステム マキシマライト

当社のメイン商材、モジュラーシステムを  
多数保有しています。

モジュラーシステムは従来の装飾である木工造作とは違い、  
再使用可能の商材です。

木工造作では一案件毎で使い捨てになってしまいますが、モジュラーシステムでは会場で組み立て、撤収時に解体、工場に戻しクリーニングして新たな展示会で使用する、を繰り返し使用しています。そのため、資材を使い捨てにはせず、産業排出も少なく環境の事を考えたグリーン商材です。サクラインタナショナルは、それらを扱う環境に配慮した工場となっています。

また、モジュラーシステムは軽量なアルミ製で出来ており、当社では「シルバー」「黒色」「白色」の製品を保有しており、クライアントのイメージに合わせた装飾が可能です。

こちらの商材にもシートを貼る事で、3色以外にも様々なカラーでの装飾が可能です。



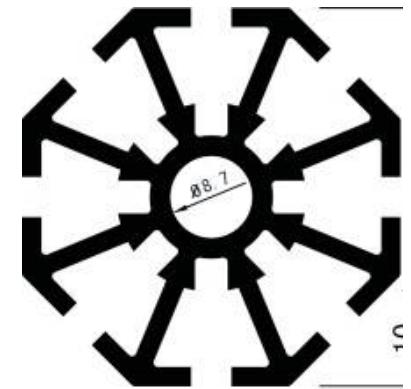
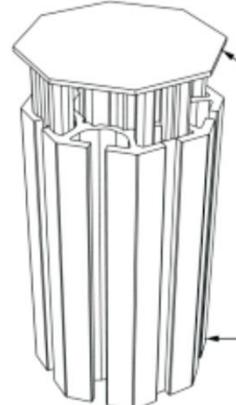
## 新商品 折り畳み展示台

こちらは一昨年に人手不足解消の目的で当社が開発した「折り畳み展示台」です。従来、モジュラーシステムの展示台は現場での組み立てが必要でしたが、人手不足のなか何とかして作業効率を改善できないものか・・・と試行錯誤の末に開発した商材になります。従来のモジュラーシステム展示台は、特殊な工具を使い組み立て作業が必要でしたが、折り畳み展示台は、商品名通り折り畳むだけで完成するので、『誰でも』『簡単に』『短時間』で設置できる新商材になっています。



## 小物類・大物類

こちらのエリアでは、展示台の柱上部に付ける「エンドキャップ」や、天板を受ける為の「天板フック」などの小さな製品類や、モジュラーシステムに取付けする「ドア」や「カーテン」、柱を自立させるための「ベース」類など、500種類以上・25万点以上の大小さまざまな製品を保有しています。それぞれ先ほどのモジュラーシステムに合わせた色で保有しており、全体の統一感を取れるようにしています。





## GDO

GDOはGraphic Design Operationの略称で、こちらの事務所で様々な印刷物を作成しています。

1.5mを超える幅の大型IJプリンター3台、切り文字を作成するためのプロッター1台、ファブリック等の布製品を縫製するための工業用ミシンを保有しており、様々なサイン類を社内作成・短納期で生産が可能です。

今後、ファブリックやターポリンなどの大型商材も用いて更なる発展へ進んでいきます。





SAKURA  
international

